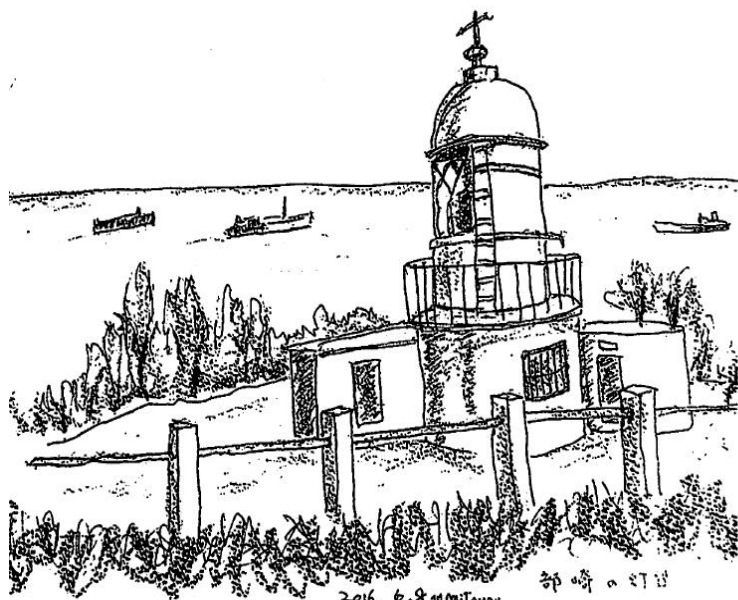


週報2020年8月16日



2020年教会標語聖句

キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。

コロサイ人への手紙 3 章 1 5 節

シオン教会信仰指標：“成熟したキリスト者を目指して”

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX...4396)

牧師携帯 090-6737-5276

<http://jesus.holy.jp/>



礼拝順序 2020年8月16(日)

前奏	力丸勝子 師
開会の祈り	山崎銀次郎 牧師
信仰告白	使徒信条
	標語聖句唱和「コロサイ書 3 章 15 節」
讃美	新聖歌 343 「罪に満てる世界」
献身の祈り	山崎銀次郎 牧師
賛美	新聖歌 397 「神の御子にますイエス」
聖書朗読	ローマ人への手紙 12 章 9 ～ 21 節
説教題	「偽りのない愛」
お祈り	御言葉の応答の祈り
祝福と派遣の祈り	山崎銀次郎 牧師
後奏	力丸勝子 師

交わりの三省

- * 互いに愛し合っていますか
- * 互いに赦し合っていますか
- * 互いに祈りあっていますか

説教要約

ローマ人への手紙 12 章 9～21 節

「偽りのない愛」

I. 緒論

ローマ書 12 章はパウロがローマの信徒の人達に対して、「神の一方的な恵みによって救われた者としてどう在るべきか」という信仰生活の具体的な指針について書かれています。12 章 9 節から(神の賜物として与えられた)愛の実践について書かれています。実はこれがメインテーマではありません。12 章全体でパウロが強調している事はクリスチャンの方向性(在り方)です。12 章 2 節でパウロは「心の一心によって自分を変えなさい」と言っています。そして 12 章 9 節の「悪を憎み、善に親しみなさい」というのは同じ意味です。

そしてこのパウロの勧めの前提になるのが「神の一方的な恵み」です。つまりパウロがここまで(12 章まで)ずっと強調してきた事は「人は行いによって義とされるのではなく、イエス・キリストを信じる信仰によって義とされる」ということです。パウロが言いたかった事はキリストによる救いの恵みによってでしか人間の心は変えられないという事です。「愛に偽りがあってはいけない」という言葉は言い換えると、神が示したキリストの愛(あわれみ)に従って生きて行きなさいと言う意味です。そうすると行いや知識を誇る人生を脱ぎ捨てて、12 章 9 節以下に書かれている、愛を実践する生き方が出来ると、パウロは説いています。

12 章の結びは「善をもって悪に打ち勝ちなさい」です。信仰生活の中で同胞から敵意を向けられる事、外に出てキリストを伝えている時に迫害に遭う事。そうした時、悪に対して悪を向ければ、お互いの悪が増幅される。なのでパウロは愛を持って敵に報いる事を勧めています。神の恵みによって創り変えられた新しい心で人々を愛する時、その愛を向けられた人々は神に立ち返る機会を得ます。それが、パウロが結びで伝えたかった事です。偽りのないキリストの愛を追い求めて、キリストの愛を世に示しているか？今日の聖句は私達にその事を投げかけています。

II. 本論(証し)

私は 18 歳の時に聖霊のバプテスマを受けて、積極的に家族に伝道するようになりました。しかし父も母も全く教会に関心を持ってはくれませんでした。この時の私は教会に対して熱心な奉仕者でしたが、両親の誕生日を知らず

父の日や母の日もプレゼントをしたことがありませんでした。この時の私は言葉でイエス様を伝えていましたが、その言葉は上辺だけで聖書が言う愛の実践に欠けていました。

「言葉と行いによってイエス様を証しなさい。」母教会の牧師先生の言葉でした。私はその言葉に従って自分なりに考え実行していました。しかしある心の葛藤が支配していきました。それは両親を愛したいけど愛せないというものでした。私は幼少期の頃、両親の仕事が忙しく、一人で家にいる事がよくありました。そんな両親を愛せない自分に気付かされたのです。しかしある時の事でした。お祈りしていると、イエス様の愛が自分の心に流れ込んでいる事がわかりました。そしてイエス様が十字架にかかれたのは、私のこの心の傷を癒すためだと知ることが出来ました。愛せない自分の自己中心をイエス様に告白し、悔い改めのお祈りをしました。その時、注がれた愛によって、より一層深いイエス様の愛と赦しを体験することが出来ました。

私はこの出来事を通じ、神様と人間の間に来た、罪の隔たりを埋めるためにイエス様が地上に遣わされた事、そして人と人との間に出来た隔たりを埋めるためにキリスト者が地上に遣わされている事を知りました。本当の愛と赦しを未信者の家族に伝える事が出来るのは自分しかない。そうして増し加えられた愛と使命感によって、今も言葉と態度でイエス様を証しするものでありたいと強く願っています。

III. 結論(適応)

「愛に偽りがあってはなりません」しかしこの言葉を実行する時、自らの愛に偽りがある事に気付かされます。しかし人は自らに不義の烙印を押される事を拒みます。だから隣人を不完全な者として扱い、その人間を創った神を偽りにしようとしめます。裁き、不寛容、憎しみ等。聖書の言葉によって照らされた事により、人間の罪は明白です。

私達人間が唯一救われる方法は神がこの世に賜ったイエスキリストを信じる信仰のみと聖書は言っています。ここに本当の愛、赦し、神の正しさが現われています。神の愛に偽りはありません。私達の人生は聖書の神様によって救われたのです。私達の人生はこの神の愛に出会うためにあるのです。

人間の愛には限りがあるかもしれませんが。しかし神の愛には限りがありません。これが善を持って悪に打ち勝つ秘訣です。私達は何度でも神の愛に立ち返る事によって、人を赦し、愛し、隣人の為に祈る事が出来るように変えられます。共に主を見上げ前進してまいりましょう。